

1. 評価報告概要表

作成日 平成21年3月9日

【評価実施概要】

事業所番号	4070901485		
法人名	医療法人 友愛会		
事業所名	グループホーム サンテラス		
所在地 (電話番号)	福岡県福岡市博多区諸岡4丁目 26- 16 (電話) 092- 588- 8558		
評価機関名	株式会社 アトル		
所在地	福岡市博多区半道橋 2 - 2 - 51		
訪問調査日	平成21年2月24日	評価確定日	平成21年3月16日

【情報提供票より】(21年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 10月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤	15人, 非常勤 2人, 常勤換算 9.1人

(2) 建物概要

建物形態	併設型	新築
建物構造	鉄骨 造り	
	3 階建ての	2 階 ~ 3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	100,000円	償却の有無	3年
食材料費	朝食	350 円	昼食 550 円
	夕食	600 円	おやつ 昼食代に含む 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(2月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護 1	7 名	要介護 2	4 名		
要介護 3	2 名	要介護 4	3 名		
要介護 5	2 名	要支援 2	0 名		
年齢	平均 85.2 歳	最低 60 歳	最高 97 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	友田病院 福岡保養院 ゆうあいデンタルクリニック
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体である病院に入院している高齢者が退院してから安心して暮らせる様に訪問系の在宅サービスに力を入れた。その後、近隣の方々からの要望もありグループホームを立ち上げた。ホームは母体の病院とともに地域に貢献し連携を図っている。母体が病院である為、医療連携も充分図られ、ホームで暮らす利用者の表情は穏やかで生き活きとしている様子が窺い知れた。法人代表の意向が反映されており、研修や勉強会にて職員のスキルアップや生き活きと働ける環境を作っている。ホームのハード面に於いても工夫が見られ、明るく清潔な環境が保たれていることが確認できた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価では、数項目の改善課題があがったがミーティングや運営推進会議にて報告、話し合いを行っている。改善シートを作成し管理者、職員等が計画的に改善に向け取り組みを行っており改善されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者が自己評価を職員に説明し職員からの意見をまとめた。全職員で評価項目を確認することで、ホームの現状と取り組みが明確になり質の向上に向け取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2ヶ月に1回開催しており、家族代表、利用者代表、区長、老人会会長、民生委員、地域包括支援センター職員、ホーム関係者等が出席している。ホームの現状、外部評価の報告やホームが地域の一員として貢献できる事を出席者へ尋ね地域から情報収集を行い、ホームと地域の連携が図られるよう取り組んでいる。また、市からの出前講座を取り入れ勉強会を実施する等有意義に活用している。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法 運営への反映(関連項目:外部8,9)</p> <p>家族が面会に訪問の際には管理者、職員が声をかけ意見や要望を表出しやすいよう心がけている。家族会を年2回開催し要望を聴き取っている。また、行事の一つに家族同行の外出を設け職員と家族が交流を図り意見等表出しやすい場を設定している。要望、意見に対してはミーティングにて話し合い対応、家族へ報告している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との関連(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に入り草取りや清掃活動に利用者と共に参加している。近隣の小学校のボランティア活動の受け入れ、保育園との交流や地域の文化祭へ利用者の作品を出展する等地域との交流を図っている。また、災害時における地域からの協力体制も法人全体で呼びかけ連携を図っている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくっている	法人の理念とは別に併設のデイサービスとホームとで話し合いサンテラスの理念をつくっている。心の通う「医療と介護の実践」の中に「笑顔あふれる生活支援」・「アットホームな憩いの場」・「個性のリズムやペースに合わせサポート」・「住み慣れた地域でその人らしい生活」という独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者をはじめ全員の名札に理念が書いてあるカードを入れいつでも確認できるようにしている。毎朝朝礼時に唱和を行い、ミーティングにて理念について話し合いを行い、理念に沿ったケアを行っているが、常に確認をしている。		
2.地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に入り、地域の清掃活動に利用者も一緒に参加している。地域の文化祭に利用者の作品を出展したり、校区の運動会、敬老会への参加、また、保育園との交流会や小学生のボランティアの受け入れ等様々な取り組みを行い地域の一員として関わっている。		
3.理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価についてミーティングにて管理者より説明を行い、職員の意見を聴き取りまとめた。改善項目に関しては、改善シートを作成し改善に向けての話し合いを行い改善している。評価項目を確認することでホームの現状の把握をしている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催している。出席者は、利用者代表、家族代表、区長、老人会会長、民生委員、地域包括支援センター職員、ホーム関係者等となっている。ホームの現状や外部評価の報告を行い改善に向けての話し合いを行い、ホームとして地域に貢献できる事はないか話し合い、有効に活用している。		

グループホーム サンテラス

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市に出向きまたは電話にて必要に応じ相談しており、パンフレットやホーム便りも持参しホームの現状を伝えている。また、市に依頼し後期高齢者医療についての勉強会を実施している。		
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	法人内での研修会で勉強会を行い、職員の周知、理解に取り組んでいる。パンフレットにて必要な人には説明できるよう準備している。		
4.理念を实践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時や電話にて利用者の近況を報告し、毎月行事の予定表に本人の状態を記載し渡している。外部評価の報告もいつでも見られるよう準備している。		
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を年2回開催し要望を聴き取り、家族同行の外出の機会を作り職員に意見や要望を表出しやすいよう交流を図っている。要望や意見がでた場合はミーティングで話し合い家族へ報告している。		
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人間での異動は必要に応じあるが、極力職員が馴染みの顔であるようにしている。また、ユニット間で職員が行き来し応援できる体制にし利用者や顔なじみの関係を作っている。異動や離職の場合は、利用者に報告し家族へは面会時に報告している。新任職員はホーム便りで紹介している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援					
11	19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	採用に関しては性別や年齢等条件は無い。産休、育児休暇も取れ職場復帰し働くことができる。また、趣味や特技を活かし日々の業務や行事を盛り上げ、職員其々が持ち味を出している。		
12	20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	外部研修に参加し法人の研修会にて伝達している。内部研修では虐待も含め人権について研修を行い、全職員が人権について理解する取り組みを行っている。		
13	21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	年間計画を立て法人全体で月に1回研修を実施している。その他、身体拘束、給食、安全対策、リスクマネジメントの委員会があり勉強会を行っている。また職員からの要望にて勉強会を開くこともある。外部研修に於いては、案内し希望により参加し伝達研修を行っている。		
14	22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	近隣にある数箇所のホームに呼びかけ、ホームの状況や不明点、悩み等を話し合う交流会を開き、それぞれのホームを職員が見学し職員同士の交流も図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族の見学の際に出来る限り長時間ホームで過ごしてもらい馴染めるよう工夫しているが1日体験利用等も必要に応じ検討している。また、訪問し本人の関係者からの情報の収集を行いホームでの生活が馴染めるよう取り組んでいる。		
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり支えあう関係を築いている	利用者から昔の生活の様子を聴き生活の知恵を教えてもらうことがある。人生の先輩であることを念頭に置き対応している。利用者は職員を孫のように接したり職員は祖母のように感じ自然に家族のように寄り添っている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
17	35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人、家族から面談を行い、本人の生活スタイルや日課や趣味等を聴き取り生活が継続できるような情報を収集している。センター方式も取り入れ、担当者が記入し全職員と話し合い意向を確認している。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の意向や要望の聴き取りや、センター方式の記録を元に担当者、その他の職員、計画作成者が話し合い主治医の意見を参考に計画を作成している。家族へは計画作成前後に話し合いを行っている。		
19	39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎日、サービス内容をケアチェック表にて確認し、毎月目標のモニタリングを実施し、6ヶ月に1回計画を見直し、全職員で話し合い計画を新たに作成している。また、状態の変化により随時計画を変更している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の希望に沿い可能な限り個別対応を出来るよう支援を行っている。買い物やドライブ、喫茶等要望に沿い同行している。受診の付き添いを行い利用者の状態の把握を行っている。その他、ホームが家族や地域の方々に向け在宅サービスの利用の情報を提供し在宅支援を行っている。		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医を確認し協力医への変更もあるがもともとのかかりつけ医の継続もあり本人の希望に沿っている。協力医の往診は2週間に1回、近隣のかかりつけ医も往診してもらい利用者の健康管理を行っている。他科受診は職員が同行し本人が安心して生活できるよう支援している。		
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に関する指針に基づき家族へ説明し、家族の確認と同意書を交わしている。本人の状態の変化に合わせ、家族、主治医と話し合いを行い方針を確認共有している。		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者との会話や対応には個人の尊厳を守り配慮している。個人記録はスタッフルームの鍵の掛かる引き出しに保管している。利用者の写真掲示や掲載の承諾は口頭で交わされている。		ホームでの暮らしがよくなるホーム使いが作成されているが、現在、写真掲載については口頭で了解を得ているが、個人情報保護の観点から個人情報を使用する場合の同意書を交わすことが求められる。
24	54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースに合わせ、希望により散歩や併設のデイサービスに遊びに行ったりと自由に過ごしている。意思を表出しやすい利用者へは表情や仕草を汲み取り確認しながら支援をしている。また、利用者の特技を活かし楽しめるよう心がけている。		

グループホーム サンテラス

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	母体の病院で作られた食事を、利用者と職員が盛り付け、配膳し、職員と一緒に食事を楽しんでいる。おやつやジャム等利用者と職員と一緒に作り楽しんでいる。		
26	59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望を聴き取り入浴時間や順番等決めいつでも自由に入浴を楽しめるよう支援している。浴室には季節感やかわいらしさのある飾りがあり入浴を更楽しめる工夫がある。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の後片付けや洗濯物畳み等利用者の出来る力を活かし役割が自然とできている。また、個人の楽しみごととして紙粘土の花作りや季節を感じるカレンダー作り等指先を使うようリハビリ兼ねている。ドライブや外食、誕生会等気晴らしの支援を行っている。		
28	63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な散歩やスーパーマーケットへの買い物等利用者の希望や要望にて支援している。時には買い物のついでに喫茶を楽しむこともある。		
(4)安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており鍵をかけないケアに取り組んでいる	各階のエレベーター前が玄関となっているが、玄関ドアは日中は鍵はかけておらず、1階のデイサービスにも自由に行くことができる。		
30	73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人全体で年に2回夜間想定も含め避難訓練を実施しておりホームでも月に1回避難訓練を行っている。災害時の地域からの協力体制も運営推進会議等で話し合い整っている。備蓄品は法人にて準備している。		

グループホーム サンテラス

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	母体の病院の管理栄養士による献立、調理がされ利用者の状態に合わせた食事となっている。食事摂取表に毎回記録し、水分摂取は定期的な補給と随時摂れるよう支援し、必要に応じ記録している。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビングには季節の花が飾られ、家庭的な雰囲気がある。また、廊下や居室の壁面には地元の行事の飾り物があったり、利用者の好みの飾り物が置かれ共用空間を楽しめる工夫がされている。浴室やトイレも掃除が行き届き気持ちよく使うことができる。また、3階には天窗があり自然の採光が取り入れられ明るく快適に過ごすことができる。		
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の居室は本人の馴染みの物や思いでのある道具を配置し入所前からの生活が継続できるように配慮している。		